

平成30年度磐田北小学校学校評価結果

実施日 平成30年10月末日

※各欄の数字は、「かなり当てはまる」「まあ当てはまる」と回答された割合(%)です。

1	質問内容	年度	子ども	保護者	職員
	授業の内容がよく分かる。	22年度	86.2	87	95.1
		23年度	87.0	88.2	94.1
		24年度	89.2	89.1	97.1
		25年度	87.5	86.4	100.0
		26年度	85.5	83.6	97.3
		27年度	85.9	85.5	92.3
		28年度	86.5	85.0	90.9
		29年度	88.8	83.7	99.0
		30年度	86.5	83.4	96.0
【考察】昨年度改善された数値が、落ち込んだ。教師側は昨年同様高い数値のため、教師が取り組んでいる授業改善や指導方法の工夫が児童や保護者に実感として感じられていないことがわかる。児童がわかる授業となるための努力を重ねていきたい。(数値目標90%以上)					

2	質問内容	年度	子ども	保護者	職員
	分からないことは、先生に聞いたり、自分で調べたりして解決している。	22年度	76.3	65.4	46.3
		23年度	79.2	66.2	51.4
		24年度	79.5	64.3	63.9
		25年度	79.7	61.0	65.7
		26年度	78.1	61.1	73.0
		27年度	78.1	63.9	59.0
		28年度	76.2	63.0	66.7
		29年度	76.2	68.4	68.0
		30年度	80.5	64.6	80.0
【考察】本校の児童が苦手とするところである。本年度は、月曜日に15分間の「ぐんぐんタイム」の時間を個別指導の時間とした。その成果が表れていると思われる。今後も粘り強く学習に取り組む姿勢を身に付けさせたい。					

3	質問内容	年度	子ども	保護者	職員
	学校に楽しく通っている。	22年度	91.2	94.8	97.6
		23年度	92.1	97.1	94.4
		24年度	93.9	96.1	97.4
		25年度	94.0	96.0	92.1
		26年度	93.4	96.6	100.0
		27年度	92.4	96.1	97.4
		28年度	92.0	95.0	100.0
		29年度	90.7	92.6	100.0
		30年度	87.3	93.3	98.0
【考察】「子ども」の評価が下がってきている。これは、友達や先生との関係や学習面で不安を抱える児童が昨年度よりも増えてきていることが推察できる。児童一人ひとりが居場所のある学級、活躍できる場面づくり、絆づくりができる環境整備を進めていきたい。(数値目標95%以上)					

4	質問内容	年度	子ども	保護者	職員
	友達と仲よくしている。	22年度	95.2	96.3	97.6
		23年度	95.9	96.8	97.2
		24年度	97.1	96.1	92.3
		25年度	95.0	97.7	97.1
		26年度	95.6	97.3	100.0
		27年度	95.3	97.4	87.2
		28年度	95.1	95.8	100.0
		29年度	95.3	95.5	99.0
		30年度	93.9	95.4	96.0
【考察】「子ども」「保護者」「職員」ともに昨年度同様に高い割合となっている。しかし、数値が年々微減している点は気になる。学校に楽しく通っているかとの問いと同様、友達との関係に不安を抱えないような学級づくりを徹底したい。その手立てとして、対話活動も充実させたい。					

5	質問内容	年度	子ども	保護者	職員
	まわりの人にあいさつをしている。	22年度	89.1	80.5	36.6
		23年度	92.7	85.5	59.5
		24年度	91.6	83.6	59.0
		25年度	89.9	84.5	62.9
		26年度	89.0	85.6	70.0
		27年度	88.4	85.0	66.7
		28年度	90.8	84.7	76.5
		29年度	89.5	84.5	63.0
		30年度	88.8	81.5	58.0
【考察】「子ども」や「保護者」は、比較的評価は高いものの、微減している。「職員」の評価が低い。これは、児童はあいさつをきちんとしている意識はあるが、率先してしたり、元気よくかえしたりしていないことが今回のような結果となった原因の一つと考えられる。高学年を中心とした取り組みを続けていきたい(数値					

6	質問内容	年度	子ども	保護者	職員
	わたしには、よいところがある	22年度	※	※	※
		23年度	※	※	※
		24年度	※	※	※
		25年度	※	※	※
		26年度	※	※	※
		27年度	※	※	※
		28年度	81.4	※	※
		29年度	82.9	※	※
		30年度	79.4	※	※
【考察】学府で自尊感情を高めようと取り組んでいるものの、評価が下がった。自分のよさを気付かせたり、児童に自信をもたせる助言をしたりする指導が一層必要である。児童は周囲(他人)からの評価にとっても敏感であるため、励まし認めていくことが大切である。これは、学校だけでなく、保護者の協力も必要である。家庭や学校で自分は必要とされているという自信をもたせたい。					

7	質問内容	年度	子ども	保護者	職員
	学級には、おたがいにルールを守り、協力する雰囲気がある。	22年度	82.8	84.8	87.8
		23年度	83.1	86.1	86.5
		24年度	88.4	84.6	94.9
		25年度	85.2	90.3	91.4
		26年度	80.0	90.8	89.5
		27年度	84.5	94.0	82.1
		28年度	84.3	91.7	94.1
		29年度	80.7	88.7	86.0
		30年度	76.1	89.6	83.0
【考察】「3学校が楽しい」「4友達と仲よく」の評価が下がっている理由の一つに、学級内の雰囲気に関係していると推察できる。誰でも落ち着いていられる教室となるために、お互いを認め合うことができる人間関係づくりを目指したい。また、いじめなどを許さないという姿勢を今まで以上に明確にしていきたい。					

8	質問内容	年度	子ども	保護者	職員
	子どもたちは、自分の将来に対して、夢や希望をもっている。	22年度	87.1	79.3	82.9
		23年度	87.0	77.2	91.2
		24年度	90.7	79.6	100.0
		25年度	90.5	80.3	94.3
		26年度	88.8	79.7	94.4
		27年度	84.5	94.0	82.1
		28年度	87.3	79.1	90.9
		29年度	84.8	80.0	84.0
		30年度	84.7	79.8	86.0
【考察】昨年度並みの評価となった。児童と接する教師が夢を語り、子どもたちに希望をもつことができる指導が必要である。また、子ども一人ひとりを大切にしたい指導を心がけることも大切であると感じる。(数値目標90%以上)					

9	質問内容	年度	子ども	保護者	職員
	子どもたちには、学校に相談できる人がいる。	22年度	82.9	71.1	87.8
		23年度	83.6	70.8	94.3
		24年度	85.6	71.4	97.3
		25年度	85.6	81.1	85.7
		26年度	86.3	77.4	94.7
		27年度	89.9	82.8	94.9
		28年度	85.3	77.6	94.1
		29年度	85.8	78.3	83.0
		30年度	83.0	77.8	96.0
【考察】相談できる相手として、教師だけでなく友達も含まれるが、「子ども」「保護者」ともに評価が下がっている。学級の雰囲気や仲のよい友達がいるかという質問の評価と通じる部分もある。また、誰に・どのように相談していいのかわからないことも考えられるため、相談方法をきちんと示していきたい。合わせてSCへの相談も充実させていきたい。					

10	質問内容	年度	子ども	保護者	職員
	今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある。(4, 5, 6年生のみ回答)	22年度	71.3	※	※
		23年度	66.0	※	※
		24年度	73.9	※	※
		25年度	89.5	※	※
		26年度	88.2	※	※
		27年度	86.6	※	※
		28年度	87.6	※	※
		29年度	82.6	※	※
		30年度	76.7	※	※
【考察】地域主催の活動への参加にとどまらず、生活科や総合的な学習の時間をはじめとした諸教科学習にて地域への参画意識が定着してきたと感じていたが、関心が下がったことは残念である。来年度からは、見付天神祭りの学習を学年に合わせて行っていきたい。					

11	質問内容	年度	子ども	保護者	職員
	北小が目指そうとしている子どもの姿や教育内容について知っている。	22年度	※	74.9	※
		23年度	※	79.4	※
		24年度	※	79.7	※
		25年度	※	80.7	※
		26年度	※	78.2	※
		27年度	※	81.4	※
		28年度	※	73.8	※
		29年度	※	82.9	※
		30年度	※	82.0	※
【考察】昨年度から、保護者のニーズに応えることができる学校だより等の作成に努力してきた。今後も、タイムリーな話題を中心に伝えるようにしていきたい。また、各学年からも必要に応じ、保護者説明をする場(懇談会等)で伝えていきたい。(数値目標80%以上)					

12	質問内容	年度	子ども	保護者	職員
	北小の先生は、子どものことを理解して指導にあたっている。	22年度	※	91.9	※
		23年度	※	95.6	※
		24年度	※	91.9	※
		25年度	※	94.5	※
		26年度	※	90.9	※
		27年度	※	94.5	※
		28年度	※	89.9	※
		29年度	※	94.0	※
		30年度	※	92.7	※
【考察】学校では日頃から一人ひとりに合わせた指導を心掛けている。今年からは、より一層児童理解を深めることと、適切な保護者とのかかわりを保つ方策として全家庭の家庭訪問を実施した。また、保護者からの要望(情報)を大切にしていきたいことが、高い数値の評価と今年もなっていると感じる。					

13	わたしは、必読図書をすべて読み終えた。(数値目標85%以上)	年度	子ども
		24年度	84.7
		25年度	93.8
		26年度	93.9
		27年度	87.0
		28年度	68.5
		29年度	82.0
30年度	83.4		

【考察】今年から朝の貸出し業務にボランティアさんの協力も得られ、貸出しも順調に伸びている。

14	異校種間で子ども同士の交流を行った。〈幼保小中の連携〉	年度	職員
		24年度	56.4
		25年度	22.0
		26年度	30.0
		27年度	48.7
		28年度	77.1
		29年度	20.0
30年度	18.0		

【考察】近隣校との交流や特別支援学校との交流、幼稚園や保育園等との交流を行っている。今年からは、幼稚園との交流を今まで以上に進めていきたい。

15	北小では、個に応じたきめ細やかな支援・指導を行っている。	年度	職員
		24年度	100.0
		25年度	96.0
		26年度	89.5
		27年度	97.4
		28年度	93.9
		29年度	97.0
30年度	96.0		

【考察】学習状況に合わせた、「わかる授業」に努めている。また、ぐんぐんタイムの時間も有効に活用している。

職員		年度	職員
16	子どもたちは、地域の人たちと、学校や地域で関わっている	24年度	※
		25年度	※
		26年度	※
		27年度	※
		28年度	88.2
		29年度	79.0
		30年度	88.0

【考察】
よつば学府では地域とのつながりが強く、協力的であることがうかがわれる結果である。今後も地域を大切にした教育を進めたい。

児童		年度	子ども
17	外国語の授業が楽しい	24年度	※
		25年度	※
		26年度	※
		27年度	※
		28年度	88.0
		29年度	86.5
		30年度	81.6

【考察】
5、6年生は専科教員とALTとの授業で充実した内容になった。しかし、内容が児童にとって難しいと感じることがあったことも考えられる。

児童		年度	職員
18	中学校の学習や生活を楽しみにしている (6年生のみ)	24年度	※
		25年度	※
		26年度	※
		27年度	※
		28年度	86.9
		29年度	85.8
		30年度	81.3

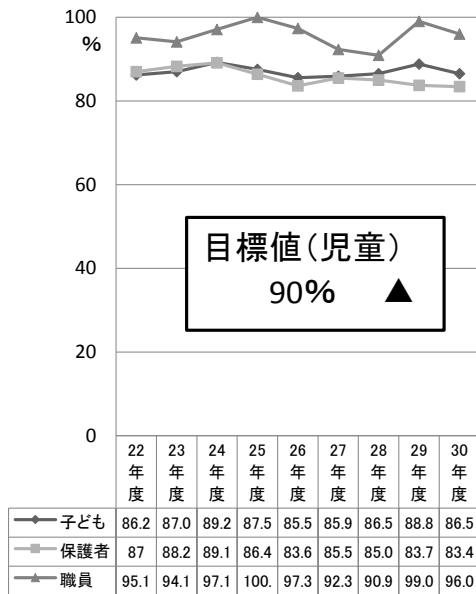
【考察】
よつば学府として、小学校から中学校への進学に夢や希望がもてるような取り組みをしていきたい。

親		年度	保護者
19	あなたは、お子さんと日常的に会話をしている	24年度	※
		25年度	※
		26年度	※
		27年度	※
		28年度	97.3
		29年度	95.1
		30年度	95.9

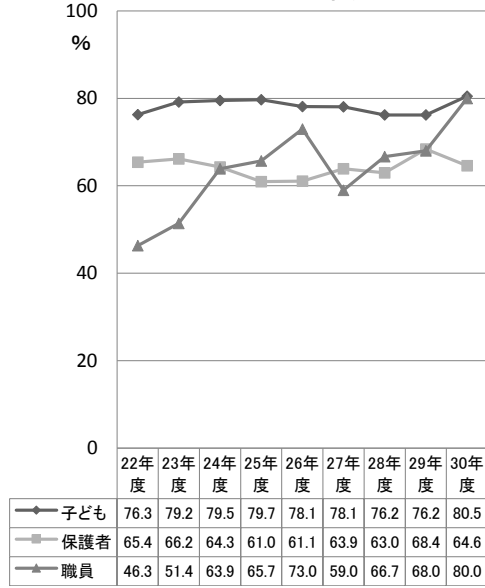
【考察】
昨年に引き続き高い数値である。家庭内で、子どもの話をよく聞いていただくことは、自己肯定感を高めることにもつながると考えられる。

※各欄の数字は、「かなり当てはまる」「まあ当てはまる」と回答された割合(%)です。

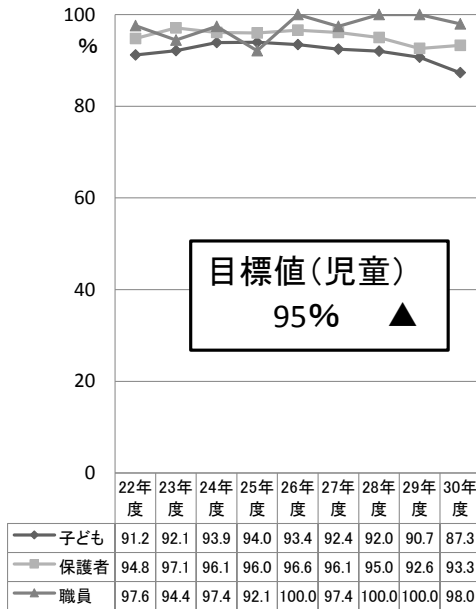
1 授業の内容がよく分かる



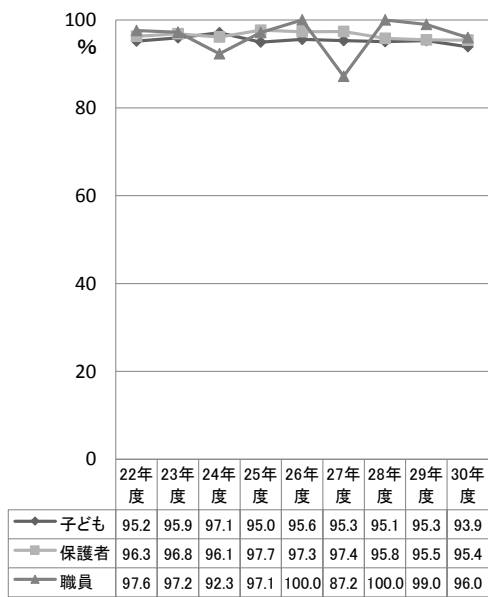
2 分からないことは、先生に聞いたり、自分で調べたりして解決している



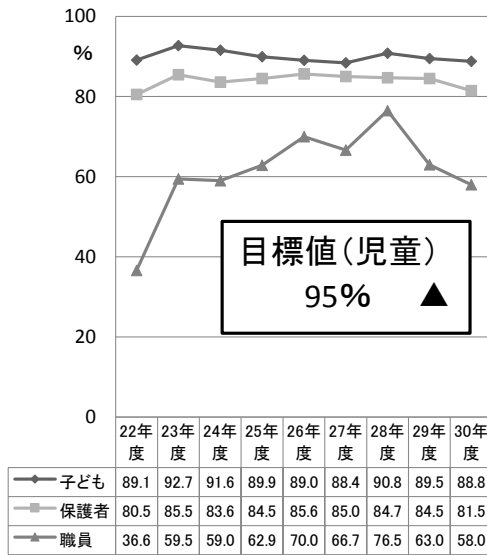
3 学校に楽しく通っている



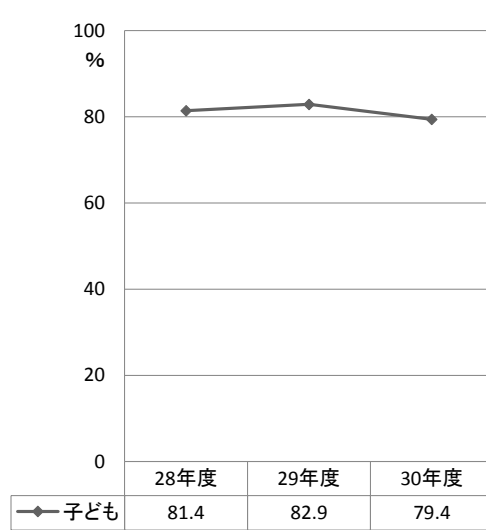
4 友達と仲よくしている



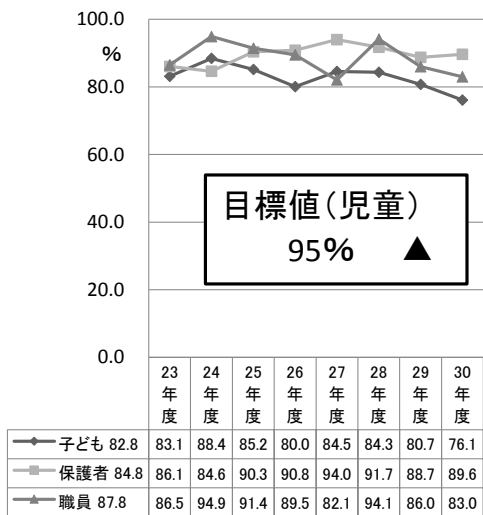
5 まわりの人にあいさつをしている



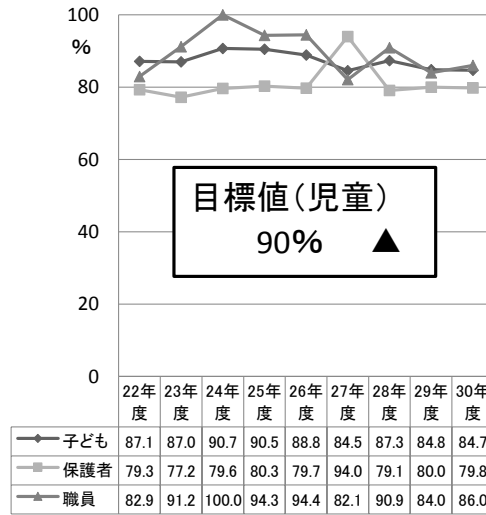
6 わたしには、よいところがある



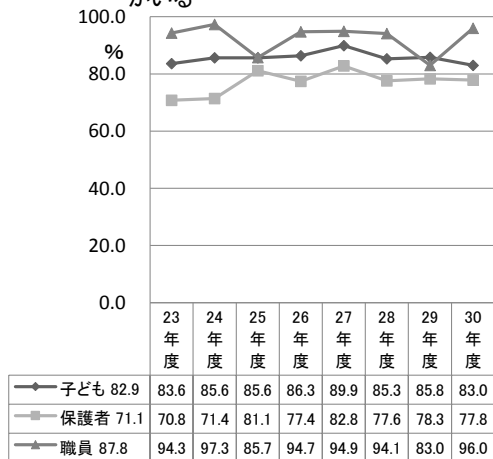
7 学級には、おたがいにルールを守り、協力する雰囲気がある



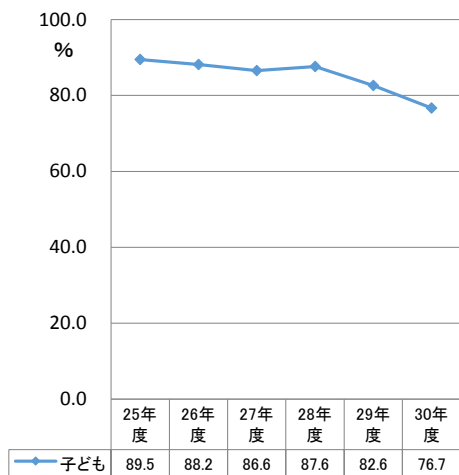
8 子どもたちは、自分の将来に対して、夢や希望をもっている



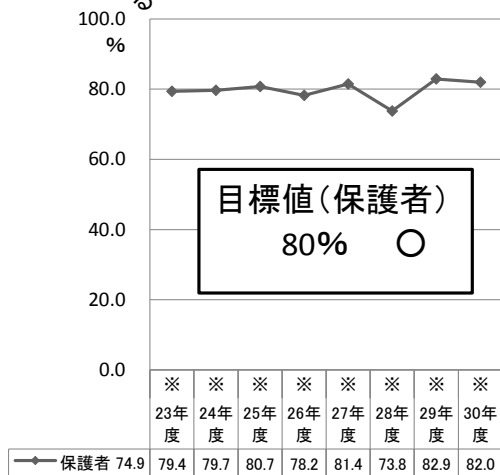
9 子どもたちには、学校に相談できる人がいる



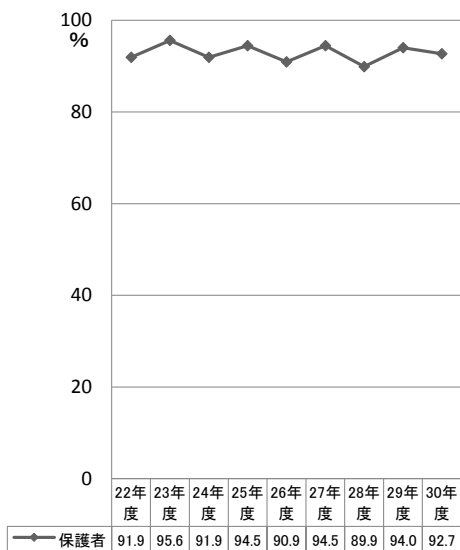
10 今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある(4, 5, 6年のみ回答)



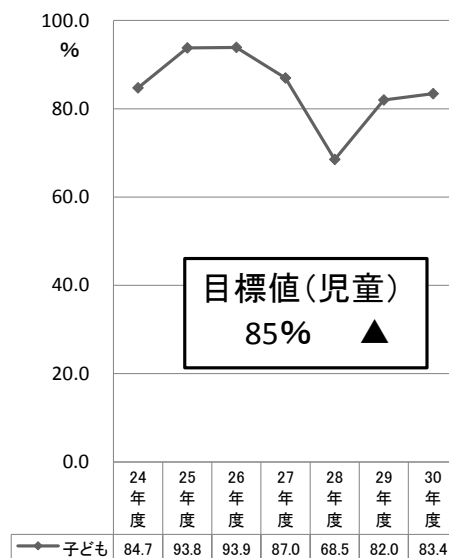
11 北小が目指そうとしている子どもの姿や教育内容について知っている



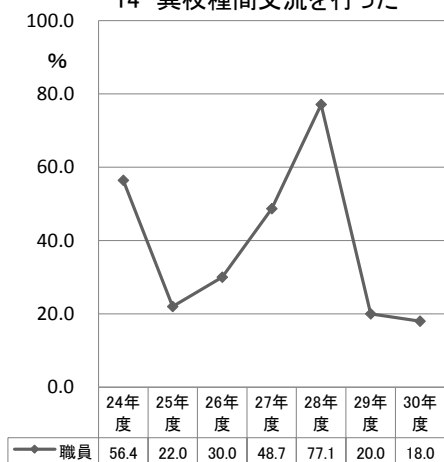
12 北小の先生は、子どものことを理解して指導にあたっている



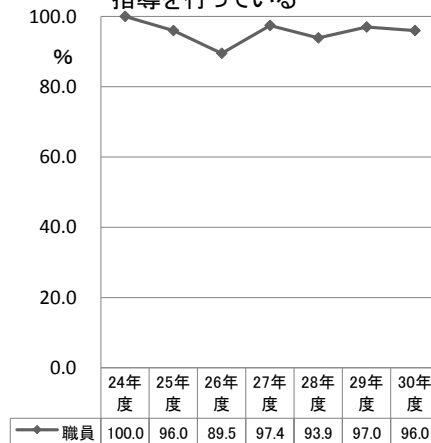
13 必読書を全て読み終えた(10月下旬現在)

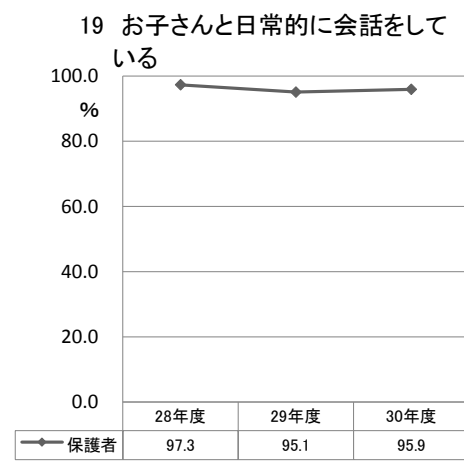
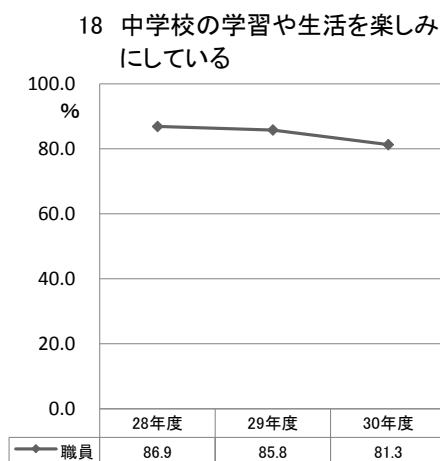
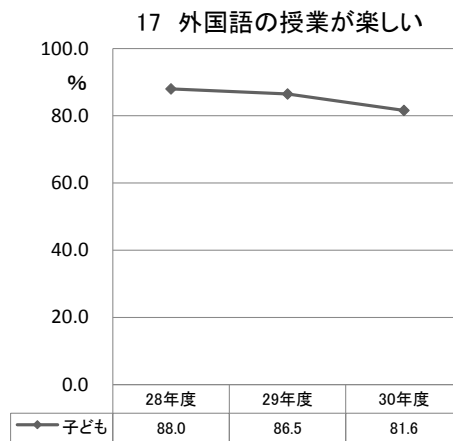
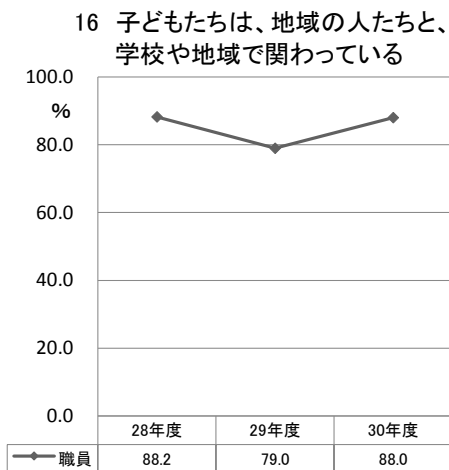


14 異校種間交流を行った



15 個に応じたきめ細やかな支援・指導を行っている





考察と対策(目標値を設定してある項目中心)

- 1 昨年度改善された数値が、落ち込んだ。教師側は昨年同様高い数値のため、教師が取り組んでいる授業改善や指導方法の工夫が児童や保護者に実感として感じられていないことがわかる。児童がわかる授業となるための努力を重ねていきたい。
- 3 「子ども」の評価が下がっている。これは、友達や先生との関係や学習面で不安を抱える児童が昨年度よりも増えてきていることが推察できる。児童一人ひとりが居場所のある学級、活躍できる場面づくり、絆づくりができる環境整備を進めていきたい。
- 5 「子ども」や「保護者」は、比較的评价は高いものの、微減している。「職員」の評価が低い。これは、児童はあいさつをきちんとしている意識はあるが、率先してしたり、元気よくかえしたりしていないことが今回のような結果となった原因の一つと考えられる。高学年を中心とした取り組みを続けていきたい。
- 7 「3学校が楽しい」「4友達と仲よく」の評価が下がっている理由の一つに、学級内の雰囲気関係していると推察できる。誰でも落ち着いていられる教室となるために、お互いを認め合うことができる関係づくり、担任と児童との適切なかわりを保つことができるよう努めたい。また、いじめなどを許さないという姿勢を今まで以上に明確にしていきたい。
- 11 昨年度から、保護者のニーズに応えることができる学校だより等の作成に努力してきた。今後も、タイムリーな話題を中心に伝えるようにしていきたい。また、各学年からも必要に応じ、保護者説明をする場(懇談会等)で伝えていきたい。
- 12 学校では日頃から一人ひとりに合わせた指導を心掛けている。今年からは、より一層児童理解を深めることと、適切な保護者とのかわりを保つ方策として全家庭の家庭訪問を実施した。また、保護者からの要望(情報)を大切にしていきたいことが、高い数値の評価と今年もなっていると感じる。